

日時：2014年9月2日（火）16：00～18：30

場所：東洋大学2号館3階 第1会議室

出席者：浮谷秀一理事長、中村真副理事長、山崎晴美、渡邊芳之、松田英子、尾見康博（大会準備委員長）

事務局：加藤司（事務局長）、太幡直也

委任：小塩真司、家島明彦、二宮克美、松田浩平

## 日本パーソナリティ心理学会第113回常任理事会

### 報告事項

#### I 理事長挨拶

#### II 各種委員会報告

##### 1 機関誌編集委員会（渡邊）

###### (1) 機関誌編集委員会の開催状況について

「パーソナリティ研究」第23巻第2号の掲載論文を決定した。

###### (2) 「パーソナリティ研究」の編集発行状況について

###### 1) 「パーソナリティ研究」第23巻第1号の発行状況について

第23巻第1号は予定通り会員宛発送された。掲載論文数は10本（原著3，ショートレポート7）であった。

###### 2) 「パーソナリティ研究」第23巻第2号の編集状況について

第23巻第2号は、掲載論文の決定が約1ヶ月遅れた。以下の8論文（原著2，ショートレポート6）を掲載して入稿準備中である。12月中を予定している。

論文番号	投稿番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
23-2-1	A-328	原著	公立小・中学校教師の休職・退職意識に影響を及ぼす諸要因の検討	草海 由香里	2013/6/13	2014/5/1
23-2-2	A-336	原著	パーソナリティ障害特性と自尊感情の諸側面との関連——変動の大きさおよび随伴性に着目して——	市川 玲子	2013/10/18	2014/8/23
23-2-3	S-259	ショートレポート	d2-Rテストを用いた日本人小学生の視覚的注意の測定——心理学的臨床検査としての日本への導入を目指して——	矢藤優子	2013/12/17	2014/5/1
23-2-4	S-244	ショートレポート	パーソナリティ障害特性と仮想的有能感との関連——有能感の4類型間の比較——	市川玲子	2013/5/21	2014/4/17
23-2-5	S-255	ショートレポート	反芻・省察を変動させる対人ストレスイベントの種類	中島美穂	2013/10/24	2014/5/1
23-2-6	S-266	ショートレポート	携帯メール依存への親密な対人関係要因の影響——パネルデータを用いた分析——	西村洋一	2014/2/15	2014/6/28
23-2-7	S-263	ショートレポート	自己統制葛藤状況下での予期的後悔と動機づけの自律性	後藤 崇志	2014/1/23	2014/7/28
23-2-8	S-261	ショートレポート	ゆるし(forgiveness)と成人愛着スタイルとの関連	沼田 真美	2013/12/30	2014/8/1

###### 3) 「パーソナリティ研究」第23巻第3号以降の編集状況について

現在で審査中の論文は 44 本、うち 4 本が修正採択修正中である。3 号以降は予定通りの発行を目指す。

(3) 投稿状況、審査状況について

1) 投稿状況について

投稿状況は下表の通りである。

年	月	原著	ショートレポート	合計	備考
2013	9	2	1	3	
	10	6	5	10	
	11	2	3	5	
	12	4	3	7	
2014	1	2	4	6	
	2	3	4	7	
	3	6	3	9	
	4	6	4	10	
	5	1	0	1	
	6	5	1	6	
	7	3	1	4	
	8	4	3	7	8月26日
合計		44	32	75	

2) 審査状況について

審査状況は以下のとおりである。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下
9	2	9	0	0
10	5	8	2	0
11	4	12	2	0
12	1	8	0	1
2014/1	2	6	0	1
2	1	9	4	0
3	5	15	4	1
4	1	5	2	0
5	3	5	0	0
6	0	17	4	0
7	1	4	2	1
8	2	6	2	1
合計	27	104	22	5

(4) その他

1) 二重投稿問題

前回理事会で報告した二重投稿問題については、第 23 巻第 1 号に訂正（引用文献と脚注の追加）を掲載した。

2) 編集委員の交代について

機関誌編集委員が任期満了に伴う新規の委員を依頼中

3) NII-ELS 電子図書館サービスの終了に伴い、収蔵されている機関誌の J-Stage への移管に

については、機関誌編集委員会が行うことになった。

2 経常的研究交流委員会（代理：加藤）

特になし

3 広報委員会（代理：加藤）

(1) 大会関連活動

1) YPP2014

11月3日 15:00より、「山梨県地場産業センターかいてらす」にて開催予定

2) 委員会企画シンポジウム

1月4日 10:30より、「感情と動機づけをめぐって」と題して開催予定

4 国際交流委員会（代理：加藤）

特になし

5 学会活性化委員会（松田英子）

(1) 大会発表賞関係

1次審査が終了し、2次審査を開始している。

(2) 学会デビュー割について

23回大会デビュー割該当者 予約26名であった。

6 各種電子化検討小委員会（代理：加藤）

特になし

7 選挙管理委員会（中村）

選挙管理委員長：中村真

選挙管理委員：加藤司、原島雅之、薊理津子

以上承認された

8 学会20年史編纂委員会（渡邊）

編集状況について、渡邊委員より報告があった。依頼原稿は収集がおわり、年度内の発

行を予定している。

#### 9 論文賞創設小委員会（中村）

「論文賞」の骨子

骨子が提案された議論された。

細則は継続審議となった。

### III 日本心理学諸学会連合

#### 1 日本心理学諸学会連合について（浮谷理事長）

中野サンプラザホールにおいて説明集会が行われ、公認心理師法案について説明がなされた。6月15日の心理学諸学会連合の会議内容について説明がなされた。

#### 2 心理学検定について（代理：加藤）

8月10日の試験において、いくつかの会場が台風のために中止し、実施できなかった会場を対象に8月31日に実施した。

### IV 事務局報告（加藤）

別途説明がなされた。

### V 第23回大会準備状況について（尾見）

プログラムが来週配布される予定である。準備状況の説明がなされ、事前の打ち合わせを行った。

### VI その他

## 審議事項

#### I 2014年度予算、2013年度決算の件

2013年度決算案が提案され、承認された。

部分的に修正のうえ、2014年度予算案が提案され、承認された。

#### II 第112回常任理事会議事録承認に関する件

承認された。

### Ⅲ 新入会員に関する件

#### 1 新入会希望者の件

##### (1) ML 承認済み

9名が追認された。

#### 2 退会希望者

2名が承認された。

以上、以上の承認を受けて、8月30日現在、会員総数は903名である（一般会員615名、院生会員275名、学生会員5名、名誉会員7名、賛助会員1名）。

### Ⅳ その他

次回常任理事会は理事会で決定する